

PILLAR 株式会社 **PILLAR**

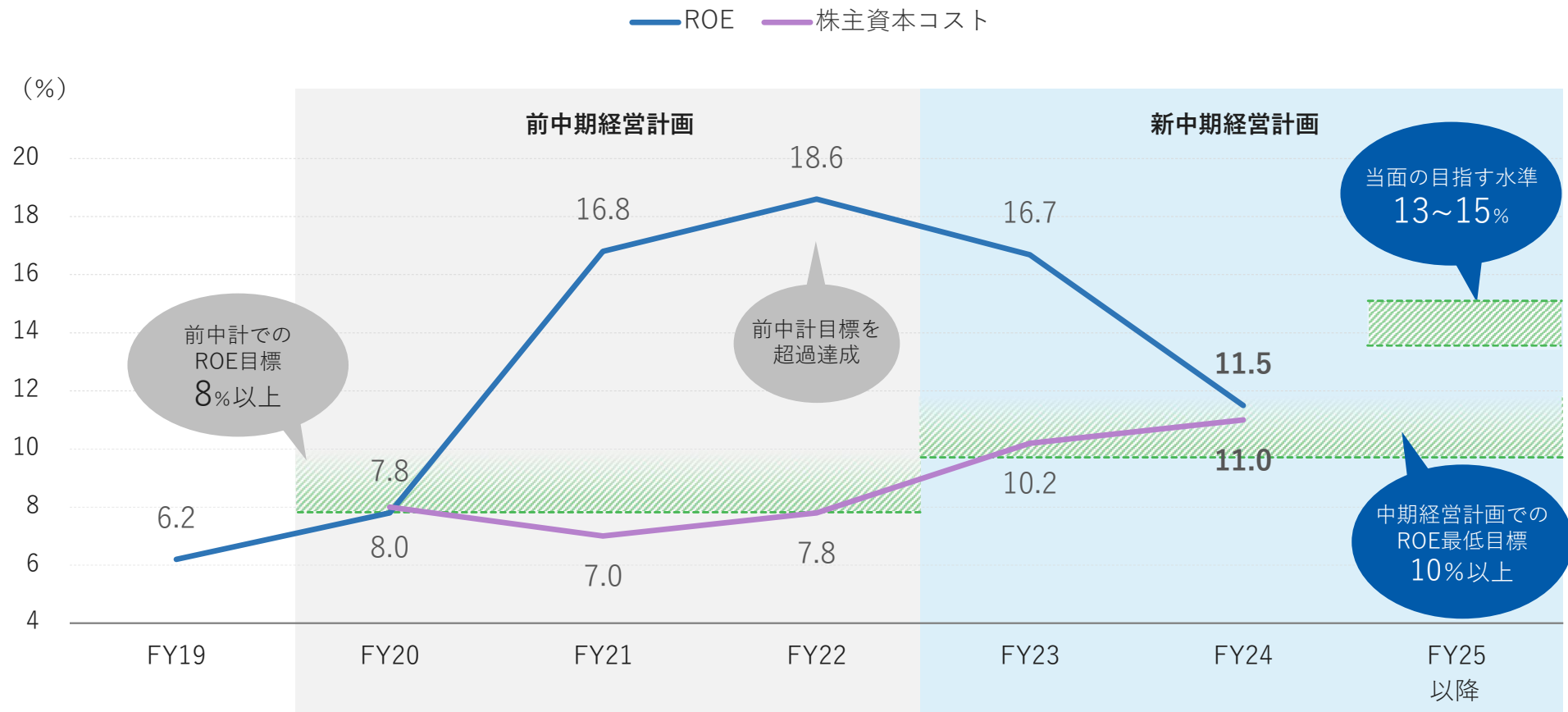
資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

2025年5月14日

資本収益性・資本コストの現状認識

- 当社資本コストは、通常10%程度と認識。足元は β 値とリスクフリーレート上昇で一時的に11%へ上昇
- ROEは、25/3期の業績影響もあり、24/3期の16.7%から11.5%へ5.2pt低下したものの、取締役会で資本コストを上回る資本収益性を確保していることを再確認済
- 中期経営計画のROE目標10%以上を上回るものの、エクイティ・スプレッド拡大の必要性は認識しており、更なる事業利益創出を図り当面は13~15%の水準を目指す方針

ROEと資本コスト*の推移

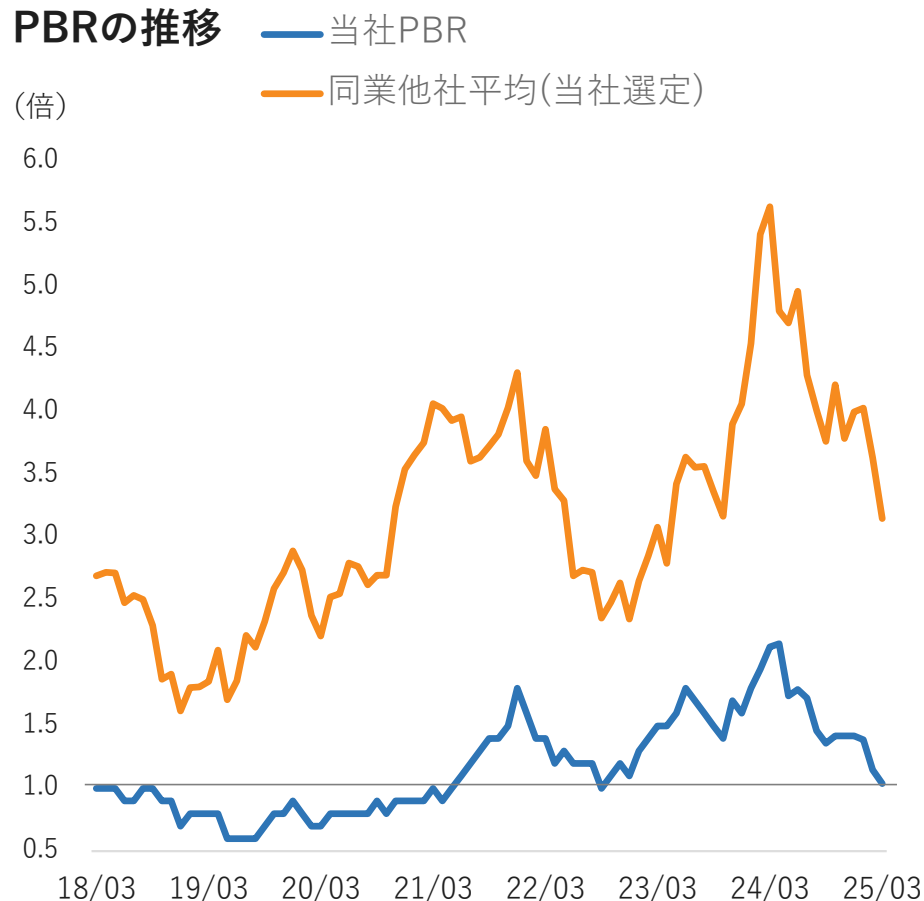


*1 CAPM (リスクフリーレート+ベータ値×リスクプレミアム) 等複数の指標を算出して検討

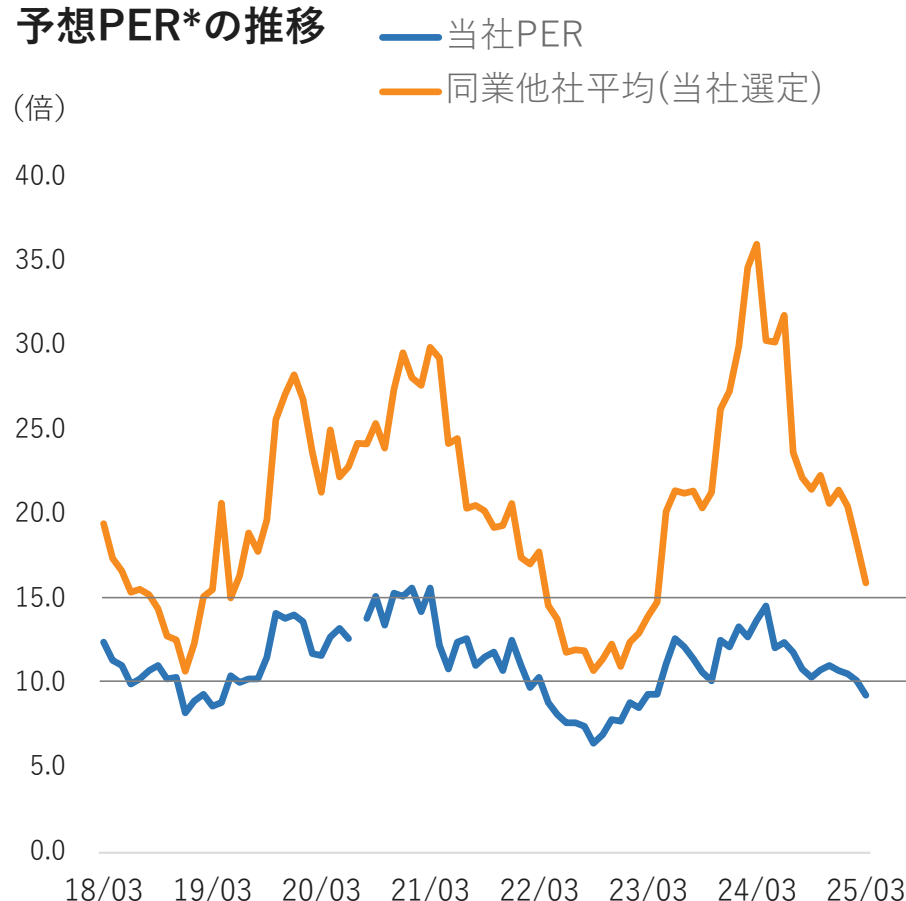
PBR・PERの現状認識

- PBRは、2021年3月に1倍を超え2024年3月に一時的に2倍超に上昇したものの、業績下方修正などの影響から現状は1倍程度で推移
- PERは、株価水準上昇により概ね10～15倍の間で推移しているが、足元は株価軟調により低下傾向
- 半導体関連の売上比率が約7割を占める当社のPBR、PERは同業他社比(当社選定)で上昇の余地があると認識

PBRの推移



予想PER*の推移

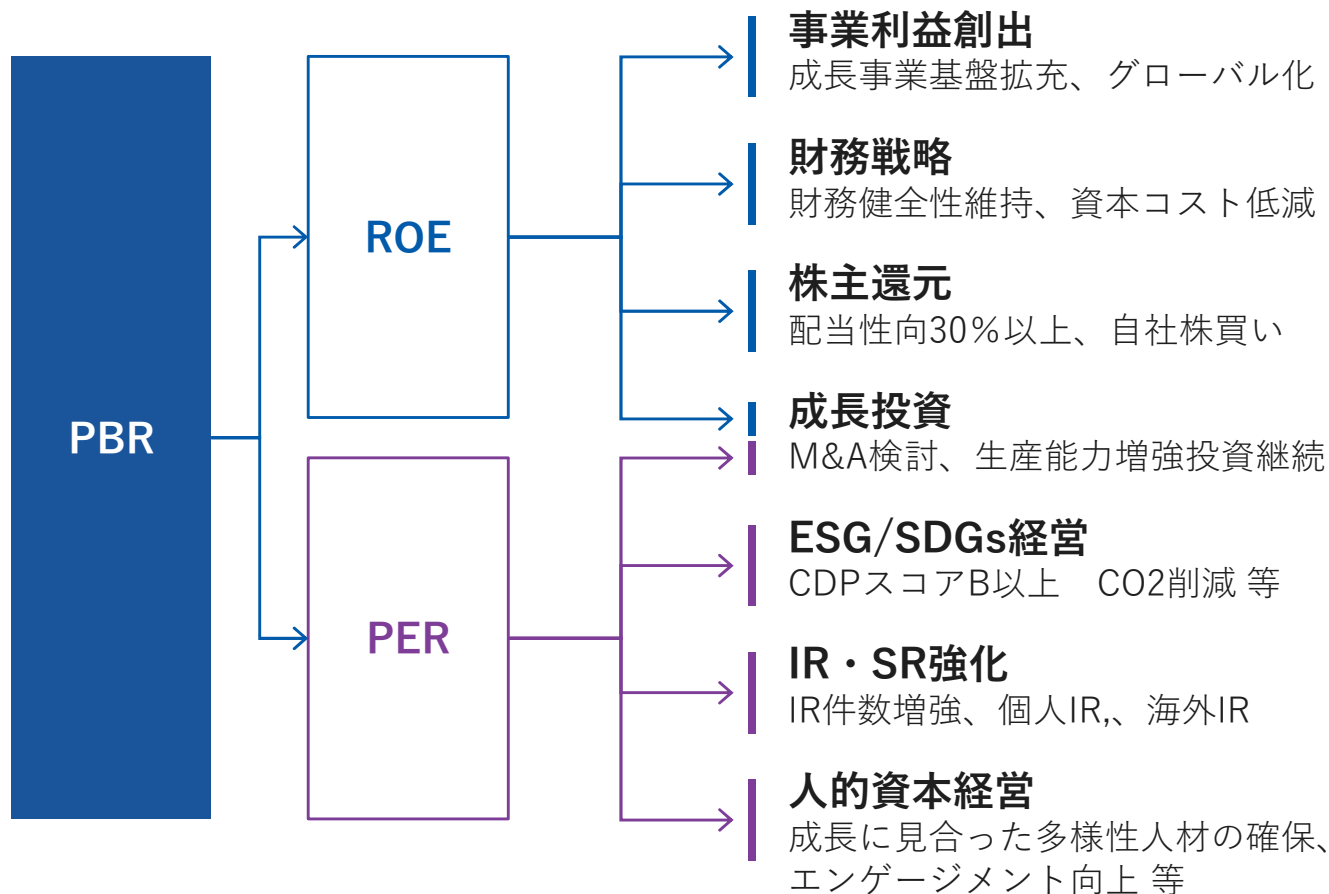


*会社予想をベースに算出

資本コストを上回るROEの継続に向けて

- 企業価値の向上には、更なる事業利益創出による「ROE向上」と「資本コスト抑制」が重要と認識
- 既存事業の成長を維持しつつ新市場開拓にも取り組み、中期経営計画「One2025」の計画遂行を図る
- 積極的な投資を継続しながらも、上記取組で資本コストを上回るROEの維持を目指す

PBRの分解



資本コストを上回るROE継続に向けた取り組み

現行中計期間の主な取組成果

福知山第2工場最新鋭設備稼働
中国ジョ州工場生産品目拡大

グリーンボンド100億円発行
売掛債権流動化枠新規設定

配当性向30%以上、株主優待継続
自己株式取得20億円実施予定

タンケンシールセーコウ買収
福知山第2工場稼働
福知山第1工場能力増強

CDPスコア「B」取得
JQA第三者検証取得 等

IR・SR面談増加、投資家LIVE配信
海外IR(欧州)・個人IR実施

「健康経営優良法人 2025」認定
多様な人材の確保 等

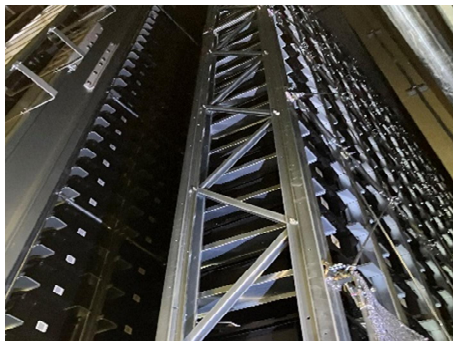
TOPICS① 事業利益創出の取組事例

- 福知山第2工場の本格稼働により、生産能力は大幅に向上。最新鋭の自動化・省人化設備の導入により更なる生産性向上とコスト競争力強化が実現
- 中国ジョ州工場において、従来の産業機器製品に加え、半導体市場向けのふっ素樹脂製品の生産を開始
中国国内で「原材料調達⇒生産⇒販売」のサプライチェーン網を構築し中国事業強化を図る

福知山第2工場（23年9月に竣工）



CASBEE® Sランク（素晴らしい）取得



福知山第二工場 自動倉庫を導入

中国安徽省 ジョ州工場



中国ジョ州工場生産品目拡大



スーパー300継手



精密機械装置用メカニカルシール
（ロータリージョイント：RJ）

TOPICS② IR/SR活動強化、資本戦略（株主還元策）・財務戦略

● IR/SR活動強化

当社認知度向上と投資家裾野拡大を企図し、投資家との建設的な対話を重視しIR/SRを強化

● 資本戦略（株主還元策）・財務戦略の検討

投資家との対話を通じて、「自己株式取得」と「売掛債権流動化枠新規設定」を実施予定

対話を踏まえて取り入れた事例

IR/SR強化	決算説明会資料の刷新、機関投資家向け決算説明会LIVE配信への移行	2024年度
ESG	温室効果ガス排出量等の第三者認証取得	2024年度
資本戦略	戦略的な資本政策と株主還元充実を企図し、自己株式取得20億円実施予定	2025年度
財務戦略	CCC*の改善・財務効率化を企図し、売掛債権流動化枠を新規設定	2025年度

2024年度 IR/SR活動 TOPICS

- ▶ 機関投資家向け決算説明会を従来の会場開催からLIVE配信へ移行、投資家の利便性・参加率を向上
- ▶ 決算説明資料の日英同時開示を開始
- ▶ 社長による初の海外IR（ロンドン）を実施
- ▶ SR（株主対応）面談を開始し、株主と建設的な対話を実施

2024年度 株主・投資家との対話実績

決算説明会(社長・担当役員)	2回
機関投資家・アナリスト(国内・海外)との個別面談	205回
証券会社主催スモールミーティング	9回
海外IR活動(欧州)	1回
SR面談	7回
機関投資家・アナリスト向け工場見学	2回
個人投資家向け会社説明会	6回

*CCC：キャッシュ・コンバージョン・サイクル。「棚卸資産回転期間＋売上債権回転期間－仕入債務回転期間」にて計算。